

2013年11月6日

報道関係各位

株式会社セキュアブレイン

## グッドコミュニケーションズが、セキュアブレインの「gred セキュリティサービス ウェブ改ざんチェック」を採用した「SYNAPES ホームページ改ざん検知サービス」の販売を開始

株式会社セキュアブレイン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:成田 明彦、以下「セキュアブレイン」)は、株式会社グッドコミュニケーションズ(本社:鹿児島県鹿児島市、代表取締役 高橋 美博、以下「グッドコミュニケーションズ」)と販売代理店契約を結び、グッドコミュニケーションズが、セキュアブレインの企業向け SaaS 型セキュリティソリューション「gred(グレッド)セキュリティサービス ウェブ改ざんチェック」を採用した「SYNAPES(シナプス)ホームページ改ざん検知サービス」の販売を本日より開始したことを発表します。

近年、一般企業のウェブサイトが改ざんされる被害が急増しています。その多くは、改ざんされたウェブサイトを見ただけで、マルウェアがダウンロードされてしまう、ドライブバイダウンロードサイトに改ざんされています。改ざんされたウェブページにアクセスしても、マルウェアの活動が目に見えることはほとんどなく、ウェブサイトの運営者も外部から指摘されるまで被害に気付かないケースが多く見られます。万一、企業のウェブサイトがドライブバイダウンロードサイトに改ざんされると、ユーザにマルウェア感染を起こし、ビジネスに大きく影響を及ぼします。

ユーザ保護の観点からも、自社のウェブサイトを改ざんから守るために、ウェブサイトを監視することが、必要不可欠な要素になっています。

グッドコミュニケーションズの「SYNAPES ホームページ改ざん検知サービス」は、ウェブサイトのコンテンツをクロールし、ウェブサイトの改ざんの有無を定期的に確認します。コンテンツに不正なスクリプトや、想定外の外部ドメインへアクセスする不正な改ざん(クロスドメインスクリプト)を検知すると、管理者にアラートメールの配信と詳細レポートの提供を行います。本サービスは、ウェブサイトのコンテンツやリンク先等複数の要素を解析するので、攻撃者によってドライブバイダウンロードサイトに改ざんされた場合のように、従来の対策では検知が難しい攻撃による、ウェブサイトの改ざんも検知が可能です。

また、近年多くの被害をもたらしている Darkleech Apache Module によるウェブ改ざん(動的にウェブコンテンツを改ざんする攻撃)の検知にも対応しています。

セキュアブレインは、ウェブ改ざん対策製品として「gred セキュリティサービス ウェブ改ざんチェック」が業界標準になるよう、今後もホスティング、レンタルサーバ事業者、およびウェブデザイン、ウェブシステム開発会社との連携を強化していきます。

### 【グッドコミュニケーションズ「SYNAPES ホームページ改ざん検知サービス」の概要】

<http://www.synapse.jp/menu/org/hpchecker.html>

以上

### セキュアブレインについて:

株式会社セキュアブレインは、インターネット上の脅威が多様化する中、全てのインターネットユーザに安心を届ける、セキュリティのスペシャリストチームとして、「より快適で安心できるネットワーク社会を実現するために、一歩進んだ技術で貢献する」というビジョンのもと、信頼性の高いセキュリティ情報と高品質なセキュリティ製品・サービスを提供する、日本発のセキュリティの専門企業です。詳細は、<http://www.securebrain.co.jp> をご覧ください。

### ◆ 本件に関する報道関係者さまからのお問い合わせ先 ◆

株式会社セキュアブレイン 広報担当:丸山 芳生(まるやま よしお)

e-mail: [info@securebrain.co.jp](mailto:info@securebrain.co.jp) 電話:03-3234-3001 FAX:03-3234-3002

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-6-7 麴町 RKビル 4F